

～子どもの豊かな育ちをめざして～
野外体験保育の推進

三重県健康福祉部子ども・家庭局
少子化対策課

「野外体験保育」に取り組むきっかけ

「自然体験」と「子どもの育ち」に関する調査

子どもの頃の自然体験が、将来にも影響している

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書(平成22年10月)



■子どもの頃、自然体験が豊富な人ほど、大人になって
「最後までやり遂げたい」「もっと深く学びたい」
といった意思、意欲が強い。

子どもの頃の体験

海や川での貝採りや魚釣り

夜空いっぱいの星をみたこと

大人の自分

なんでも最後までやり遂げたい

もっと深く学んでみたいことがある



さらに、このような調査も・・・

青少年の自然体験と自己肯定感には関連がある

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

「青少年の体験活動等に関する実態調査」平成24年度調査報告書(平成26年3月)



■自然体験が豊富な青少年ほど、自己肯定感が高い傾向にある。

自己肯定感に関する質問項目の例

学校の友だちが多い方だ

勉強は得意な方だ

今の自分が好きだ

自分には自分らしさがある

自然体験が豊富な
青少年ほど
「とても思う」と回答

三重県では、子どもの豊かな育ち を基本とした子育てを推進

少子化対策計画

三重県子ども条例 (平成23年3月制定)

〈基本理念〉

- ①子どもを権利の主体として尊重すること
- ②子どもの最善の利益を尊重すること
- ③子どもの力を信頼すること

希望がかなうみえ 子どもスマイルプラン (平成27年3月策定)

〈めざすべき姿〉

結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、すべての子どもが豊かに育つことのできる三重

自己肯定感の向上を含め、

子どもの「生き抜いていく力」を育む

“野外体験保育”を推進

“まるごと
自然体験構想”
にも位置づけ！

三重県が進める「野外体験保育」とは

野外を中心に、

地域の自然を活用し

体験活動を取り入れた

保育や幼児教育

「野外体験保育」の推進に向けて

平成27年度

三重県が実施

野外体験保育有効性調査

- ・ 県内全ての幼稚園・保育所・認定こども園に対する実態調査
- ・ 保護者へのアンケート

有効性

自らすすんで
何でもやる！

人に何かして
あげることが
好き！

ニーズ

もっと
野外体験保育に
取り組みたい！

課題

安全性の
確保

職員の
負担軽減

体験を行う
フィールドの不足

職員の
スキル向上

保護者・地域の理解と
関係強化



「野外体験保育」の推進に向けて

取組支援

人材育成支援

広報・啓発

平成28年度

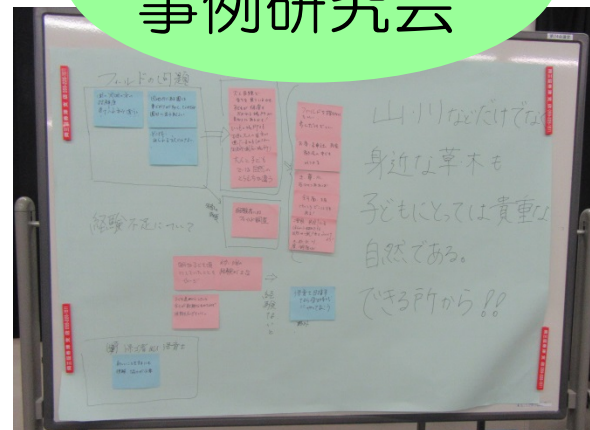


野外体験保育
アドバイザー派遣

平成29年度



野外体験保育
事例研究会



野外体験保育
シンポジウム

野外体験保育
リーフレット

みえのすべての子どもたちに野外体験保育を

「野外体験保育」の推進に向けて

取組支援①

平成29年度

野外体験保育アドバイザー派遣（5施設）

- 野外体験保育に**取り組もうとする**
保育所、幼稚園等(5施設)に派遣！



アドバイザー

かなり

嘉成永慈さんと
(森の風しぜん学校)
森本真理さん
(キャンプinn海山)

- アドバイザー**は、各施設の野外体験保育
の計画、実践、ふりかえりを助言！



- 施設に応じた**課題を個別にバックアップ！**

「野外体験保育」の推進に向けて

取組支援②



「野外体験保育」の推進に向けて

取組支援③

■野外体験保育の様子

野外体験保育のフィールドは、園の近くにある里山や畑の用水路、そして川に海！！
木登りや生き物探しをしたり、秘密基地をつくったりと、子どもたちの遊びはさまざま。
子どもたちが楽しそうに歩いていると、地域の人が声をかけてくれたり、海にかごあみを仕掛けているのを見て、エサになる魚をくれたりします。

子ども

自然の中でオリジナルの遊びを見つけたり、今までできなかったことができるようになったりして、自信がついた！

保育者

子どもたちを信頼することで余裕ができ、自身も保育を楽しむように！

保護者

子どものいきいきした姿や、積極的になっていく等の変化を感じることで、野外体験保育への理解を示すように！

地域の方

子どもたちとのつながりが生まれ、社会全体での子育てにつながる！

平成29年度

野外体験保育事例研究会（2回）

- 野外体験保育に関心がある保育士、幼稚園の教員などの皆さんが参加！
- 野外体験保育をしている保育所・幼稚園で公開保育を実施！
- 野外体験保育にふれることで、理解が深まる！

第1回 森の風ようちえん（菰野町）



自然の中で自分のやりたいことを見つけ、
元気いっぱい遊ぶ子ども達

子ども達の『好奇心』『やる気』を
引き出せるよう、見守りながら
接していきたい！

第2回 鈴鹿市立椿幼稚園（鈴鹿市）



子どもたちの
秘密基地



地域の方からさつまいもをもらい、枯れ葉を集めて焼きいもづくり



園からこれまでの経緯を説明していただくことで、参加者自身の取組の参考に！

「野外体験保育」の推進に向けて

広報・啓発

野外体験保育シンポジウム（H29.2.4）
汐見稔幸先生の講演や野外体験保育に
取り組む関係者、保護者等を交えた
パネルディスカッションを実施。



野外体験保育リーフレットを作成し、
県内に広く配付。

保護者や保育・教育関係者はもちろん、
広く県民の皆さんに
「野外体験保育」を知っていただきたい！

めざす姿

地域の自然を豊かに活用し、
それぞれの施設に応じたやり方で、
野外体験保育が広く取り組まれている

自己肯定感

積極性

思いやり

視野・判断 など



子どもたちが豊かに育つ三重へ